

1. 実施機関名

国立大学法人大阪大学

2. 企画名

世界適塾の教育研究力を活かした SEEDS プログラム
～傑出した科学技術人材発見と早期育成～

3. 総合評価コメント

年度を重ねるにつれて応募者が大きく増加しており、関西を中心に卓越した資質・能力を有する生徒を集めていた点は評価できる。また、企画実施期間終了後は自己資金を活用し、支援期間中と同規模で自立的に企画を継続している点も評価できる。講義終了後に理系大学院生らがファシリテーターとなり受講生同士が議論することにより講義の理解をさらに深める「めばえ道場」の取組も良い。受講生間の交流を重視した二年度目からの合宿の実施や、受講生自身の課題研究を大学で発展させる「探求コース」の設立など過去の実績や受講生のニーズを踏まえてフレキシブルに取組を改善した点も優れている。さらに、学内では理事・副学長を議長とする統括会議の設置をはじめ、理工系 3 部局のほか医学系の研究科や附置研究所等と連携し、関連部局から 100 名を超える教員が参加するなど、全学的な体制を構築していた点も評価できる。加えて、「科学技術」、「科学研究」、「国際交流」と「受講生の選考」という 4 つの個別の運営ごとに小委員会を配置して機動性を確保していた。一方、毎年 130 名の受講生を受け入れる大規模型プランであるにもかかわらず、一部の数値目標については成果の創出が十分ではなかった。

着実な募集・一次選抜、同規模の企画の継続、「めばえ道場」など模範的な取組があり、本事業として一つのモデルケースとなる企画といえる。今後、実施機関としての経験や本企画での実績を生かし、全学的な協力体制の維持と長期的な企画の継続、積極的な情報発信などによる企画の成果やプログラムの社会への普及・展開を期待する。